

ICTの活用など、多様なニーズへの対応

【特に優れた取組】

○場所的・時間的障害を解消するための多様なICTを利用した授業の開発と実践（筑波大学）

【優れた取組】

- 共生社会を可能にするための、障がい者を有する法科大学院生に対する
教育支援モデルの構築と提示の取組（一橋大学）
- ロースクールにおける性の多様性尊重プログラム（琉球大学）
- ・短期受講による法学適性判定－法科大学院お試し受講プログラム
・「特別履修制度」を用いた法学部との連携による優秀者の受け入れプログラム（青山学院大学）
- ICTを活用した授業の導入に向けた取組（中央大学）
- 「昼夜開講」・「秋入学」, 「テレビ会議方式・遠隔授業」で学ぶ「西宮教室」開設
－多様な社会人が夜間に学ぶ法科大学院（甲南大学）

※ 平成29年度法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム審査結果（平成28年12月26日公表）より



◇プログラム名

場所的・時間的障害を解消するための多様なICTを利用した授業の開発と実践

趣旨・ねらい

連携校との間での教育の質の向上、及び有職社会人の場所的・時間的障害の解消を目的として、複数のICTを活用することにより、同時性、双方向及び多方向性を確保したオンライン授業を実施する。

取組のポイント

①サテライト方式

・筑波大学法科大学院と他の3法科大学院との間で、一部科目を相互に送受信することにより、一部単位互換の枠組みの下で、各法科大学院が有する人的資源を活用しつつ、よりバリエーションに富んだ科目の提供が可能となる。また、ICTを通じた授業に関する基礎的ノウハウを組織的に蓄積、共有する。

(主な実績・成果)

- ・静岡大学法科大学院からの実験授業受信（中国法）
- ・筑波大学法科大学院から静岡大学法科大学院への実験授業送信（刑事訴訟法、憲法）

(今後の展望)

- ・実験授業送受信（静岡大学法科大学院、金沢大学法科大学院）
- ・甲南大学法科大学院との授業送受信（単位互換）

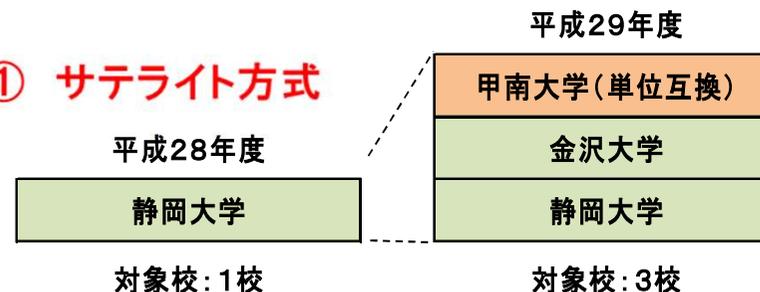
②モバイル方式

・当法科大学院の有職社会人の学修上の障害を解消するために、ノートPCやタブレット端末等を通じ、インターネットにより、出張先等からも授業に参加できる方法を提供する。さらに送信の確実性と送信する授業の質的向上を図る。

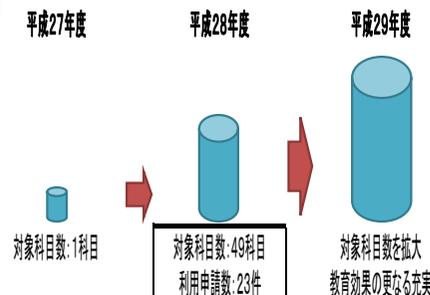
(主な実績・成果)

- ・対象科目数:49科目
- ・利用申請数:23件

① サテライト方式



② モバイル方式



モバイル方式の授業風景



一橋大学

◇プログラム名

共生社会を可能にするための、障がい有する法科大学院生に対する教育支援モデルの構築と提示の取組

取組のポイント

①障がい有する学生への（修了後の）支援

（主な実績・成果）

- ・聴覚障がい有する学生を支援し、今年（H28年）春、無事に法科大学院を修了させることができた。その後も、当該学生は科目等履修生として在籍しており、これに対してPCテイカー等による支援を継続している。

②支援のノウハウの公開、及び、障がい有する学生を支援する

体制の構築

（今後の展望）

- ・支援活動を通して蓄積したノウハウをまとめ、HPでの公開等により、共通の財産として世間に公表する。また、他校とも連携して、障がい学生を支援するためのネットワークの構築を試みる。

青山学院大学

◇プログラム名

- ・短期受講による法学適性判定－法科大学院お試し受講プログラム
- ・「特別履修制度」を用いた法学部との連携による優秀者の受け入れプログラム

取組のポイント

①お試し受講プログラム

- ・本格的な法律学習の経験のない者が法律基本科目の授業を受講し、それに関する試験も受験することによって、法律学への適性を予測する。また、法科大学院の授業を体験できる。

（主な実績・成果）

- ・H26後期からH28前期までに、学生36名、社会人26名受講。

②学部4年次生のための特別履修プログラム

- ・法学部の成績優秀な4年次生が、法科大学院の科目を先取的に履修する。入学後、単位認定により、学習にゆとりが生じる。

（主な実績・成果）

- ・H27:1人受講 → H28:延べ5人受講

琉球大学

優れた取組

（10. ICTの活用など、多様なニーズへの対応）



◇プログラム名

ロースクールにおける性の多様性尊重プログラム

取組のポイント

①在学生の学修環境の整備と専門知識の付与

- ・LGBTQ等の性の多様性を尊重した学修環境を整え、専門教育を実施し、専門知識をもった当事者・性の多様性に深い理解を示すいわゆるアライの法曹を養成する。

（主な実績・成果）

- ・性の多様性尊重宣言を行い、診断書なしの通称使用を認める等して学修環境を整備。「性の多様性の尊重」の講義を開講。

②「性の多様性」に特化した協定を那覇市と締結

- ・性の多様性を尊重する地元自治体と協力し、学生に教育の機会を提供しつつ、自治体に法的知識を提供する。

（主な実績・成果）

- ・要請に応じ学生・教員が法的知識を提供。法律相談も実施。

中央大学

◇プログラム名

ICTを活用した授業の導入に向けた取組

取組のポイント

①ICTを活用した授業の新設

- ・琉球大学法科大学院とICTを活用して特色ある授業を相互提供する。さらに、鹿児島大学・島根大学と連携し、ICTを活用して、地方固有の法律問題を扱う授業を実施。

（今後の展望）

- ・ICTを活用した授業として新たに「地域と法（米軍基地法）」「地域と法Ⅱ（九州地方の法律問題）」「地域と法Ⅲ（中国地方の法律問題）」を開講
- ・中央大学法科大学院の「政策形成と法」の授業を新たに琉球大学法科大学院に配信

②ICTをテーマにしたFD活動

- ・ICTを活用した授業をテーマにしてFD活動を積極的に行い、その成果を公表して、ICTを活用した授業の普及・促進に努める。

（今後の展望）

- ・FD研究集会の開催
- ・中央ロー・ジャーナル等においてICTに関するFD活動の成果を公表



◇プログラム名

「昼夜開講」・「秋入学」, 「テレビ会議方式・遠隔授業」で学ぶ
「西宮教室」開設－多様な社会人が夜間に学ぶ法科大学院

取組のポイント

- 「**昼夜開講・秋入学**」ICT活用「**西宮教室**」で**有職社会人が弁護士を目指す学びの場提供**
 - ・8月入試で合格後9月から学ぶ秋入学も実施。前期の科目は後期に昼夜入れ替えて配置。9月からの後期入学でも一年間で体系的に学べる。神戸市の本校で行なう授業を阪急西宮北口駅徒歩3分の西宮教室でICT活用「テレビ会議方式」により配信。双方向授業を実施。大阪から通う社会人が学ぶ場を提供。
- (**主な実績・成果**)
 - ・秋入学数（入学総数）～平成26年度9名（15名）、27年度9名（16名）、28年度6名（25名）。26年度秋入学者中5名が2年で修了。
 - ・2名は予備試験合格後、司法試験にも合格。1名は自治体幹部として復帰。1名は公認会計士資格を持って司法修習予定。